証券コード:3501

第135期 報告書

2023年6月1日 ▶ 2024年5月31日

SUMINOE REPORT

CONTENTS

トップメッセージ …… 1
ハイライト …… 5
連結財務諸表 …… 6
事業概況 …… 7
特集 …… 9
トピックス …… 11
ガバナンス …… 13
株式情報 …… 14

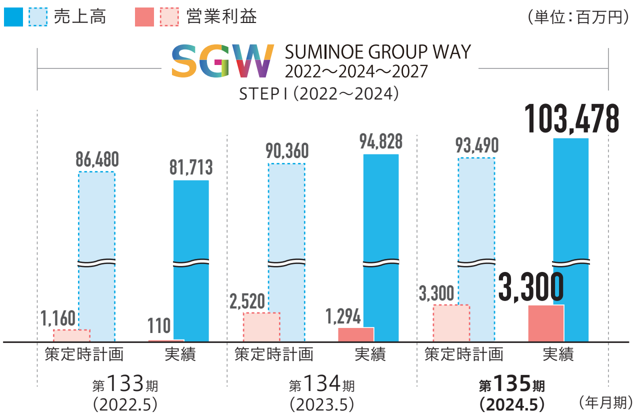
住江織物株式会社
Suminoe Textile Co., Ltd.

トップメッセージ

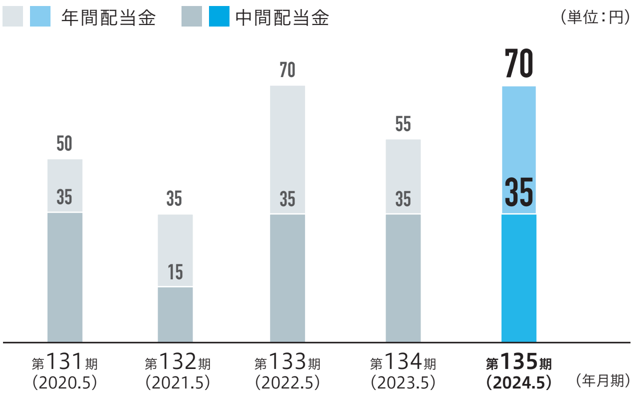
当期（2024年5月期）の業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動正常化の進展に加え、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の増加などにより景気は底堅く推移しました。一方で、緊迫した世界情勢や原材料・エネルギー価格の高騰、金融資本市場の変動影響などに注視が必要な状況が続きました。当社グループに関連するインテリア業界においては、新設住宅着工戸数・着工床面積とも前年を下回って推移しましたが、自動車業界においては半導体・部品供給不足からの回復により日系自動車メーカーの生産台数は増加しました。そうしたなか当期連結業績は、売上高1,034億78百万円（前期比9.1％増）、営業利益33億円（同154.9％増）、経常利益36億68百万円（同132.9％増）、親会社株主に帰属する当期純利益8億74百万円（同172.9％増）となりました。売上高は、日系自動車メーカーの増産に伴い自動車関連売上が堅調に推移するとともに為替も寄与し、また感染症拡大の影響で落ち込んでいた鉄道・バス向け内装材需要の回復へ着実に対応したことなどから、前期を上回りました。利益面では、特別損失として関係会社株式売却損失引当金繰入額を計上しましたが、増収に加え、北中米拠点の事業再編が奏功し自動車内装事業の海外拠点がすべて黒字化したことなどから、対前期比で各段階利益が全てプラスの結果となりました。

連結数値の推移



配当金



SUMINOE GROUP WAY STEP Iの成果

2021年7月に発表した中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」の折り返し地点を迎えました。「未来を見据えた着実な種まき」と位置づけた前半3ヵ年「STEP I」において「やるべきことはやり切った」と手応えを感じています。なかでも「あらゆる空間に、イノベーションを。」のタグラインのもと、SUMINOE GROUP一体となって取り組む組織風土が醸成しつつあり、MISSION【わたしたちが果たすべき使命】に向けて心を合わせるなかで、様々なシナジーが生まれてきています。

策定時に掲げていた2024年5月期の売上高と営業利益の計画は達成し、適切な価格転嫁の実施やスペース デザイン ビジネスの拡大、特に課題であった北米子会社の黒字化についてもしっかりと成果を出すことができました。併せて合成皮革工場の設立や外資系メーカーからの受注など、後半3ヵ年「STEP II」へつながる種まきは全て実行することができました。

経営の柱と位置付けているESGでも、着実に進展させてまいりました。環境面では、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」の認知拡大に引き続き注力したのに加え、再生ポリエステル原糸を使用したシートファブリック「スミテクス©」がトヨタ自動車の新型「ランドクルーザー“250”」に採用されました。これはトヨタ自動車のオフィスや工場などから回収した使用済みペットボトルを再利用したもので、世界で初めての取り組みです。

社会面では、2023年に人権方針を定めたほか、住江織物ではキャリア申告制度や地域限定社員制度を導入しました。また女性活躍の推進についても注力しており、当期は女性社外取締役の講演会も社内で実施しました。社員一人ひとりの能力や強みを最大限に発揮できるよう職場環境を整備することで、人的資本の強化につなげています。

ガバナンス強化では、「歩き回る経営」を継続しています。

2023年にメキシコ、2024年にインドネシアとインドにも私自身、直接訪問してきたところです。また社外取締役・監査役に向けて、当社グループへの理解を深めてもらうことを目的に、工場・事業所視察を含む研修機会の充実を図り、取締役会の実効性を高めています。

SUMINOE GROUP WAY STEPⅡの達成に向けて

中長期経営目標に掲げる通り、引き続き2027年5月期に向けて連結売上高1,000億円以上、営業利益率5%以上の達成を目指していきます。売上高1,000億円以上は、現段階ですでにクリアしています。円高に振れたとしても1,000億円を常に維持できるだけの体力強化に取り組んでいくことが、今後の課題になります。もうひとつの目標である営業利益率5%以上は決して簡単ではなく、その達成には付加価値向上がカギになると考えています。

特に主力である自動車内装事業では、グローバル戦略をアップデートすることで収益向上の道筋をつけることを目指し、北中米拠点への投資を進めます。天井材からシート、フロアカーペット、マット、トランクルームまですべての内装材をトータルに供給できる世界でも稀有なメーカーである強みを活かし、国内外市場でのプレゼンスを一層高めていきます。

また、営業利益率の向上において、一番課題となるのはインテリア事業だと考えています。もともと競争が激しく、価格の転嫁が進んだとはいえ、多くの原材料を海外から調達しているため、“超円安”の影響を強く受けざるを得ません。140年の歴史に裏打ちされた当社グループならではの技術を活かした富裕層向けの高付加価値製品を拡充することで、インテリア事業単体としても営業利益率5%の達成を目指していきます。

ブランディングのさらなる強化へ

2024年は住江織物創業から141年目という新たなステージに踏み出す年となります。「SUMINOE GROUP」として繊維にとどまらない製品開発によって、企業活動のグローバル展開が加速しつつあるなか、住江織物株式会社の商号を2024年12月から「SUMINOE株式会社」へと変更することとしました。新たな商号のもと、グローバル展開を加速し、非繊維領域の拡充を含む各事業の収益力および競争力向上を目指していきます。

同時にインテリア事業の基幹会社である株式会社スミノエについても「株式会社スミノエ インテリア プロダクツ」に商号変更します。特に「プロダクツ(Products)」の複数形“s”には、メーカーとして製造、販売だけでなく、それに付随するトータルでのサービス向上を目指すという想いを込めています。

伝統的な織物やインテリアのイメージに縛られることなく、新しい価値創造にチャレンジしていこうという当社グループの姿勢を表明したものですが、それは祖業である手織りに代表される織物を捨てるということではありません。当社グループにしかできない独自の技術、製品は競争力の源泉であることに変わりはなく、こうした独自性をより広範な分野で発揮することで、プレゼンスのさらなる向上につなげていきたいと考えています。

その想いを具現化したのが、2024年4月に「IKUE（いくえ）」をコンセプトにリニューアルした当社本社の社屋玄関です。両壁面のタペストリーは当社グループの手織り緞帳・緞通も手掛ける丹後テクスタイルが制作したつづれ織りを用い、設計・施工はシーピーオー、デザイン監修はスミノエが担当しました。“140年の歴史”と“これからの挑戦と実績”を、グループ一体となって幾重にも織りあげていく、そんな私たちの未来に向けた強い意志を感じていただければと思います。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

取締役会などで、自社の資本コストや資本収益性についての現状分析を実施し、改善に向けた方針を2024年7月に開示しました。

当社の株主資本コストは、CAPMで算出して5〜7%と分析しています。それに対し2024年5月期実績のROEは2.9%、PBRは0.5倍となっています。2027年5月期には、ROE8%、PBR1.0倍、ROIC8%、WACC4%の方針を立て、今後資本コストを上回る企業価値向上のための取り組みを積極的に進めていきます。配当政策については大幅に見直し、従来は1/3にあたる33%の配当性向としてきたのを38%に引き上げることとしました。PBRを1.0倍にまで上げるためには、より魅力ある会社にならなければなりません。それには配当政策も魅力的であることが求められると考えています。株主還元方針は、安定した株主還元と継続的な還元拡充の2つを掲げており、2025年5月期からの配当性向38%に加え、2027年5月期の営業利益計画50億円を達成しますと、年間配当金は2024年5月期実績の70円から倍となる140円になる計算です。また、急激な経営環境の悪化により著しく業績が低迷するような場合を除き、年間配当金70円を下限とすることも明示しました。

株主のみなさまへ

当社は、2024年5月末時点において、プライム市場のすべての上場維持基準に適合していることを確認しました。今後も140余年の伝統の上に、当社グループにしかない独自技術を幾重にも積み重ね、非繊維領域をはじめ新たな価値創造に挑戦し続けていきます。時代とともに刻々と変わりゆくブラッシュアップされたSUMINOE GROUPの姿をみなさまにもっと知っていただき、理解を深めていただけるよう、引き続き機関投資家に加え、個人投資家に向けても説明会を開催するなどして、積極的な情報発信に努めていきます。

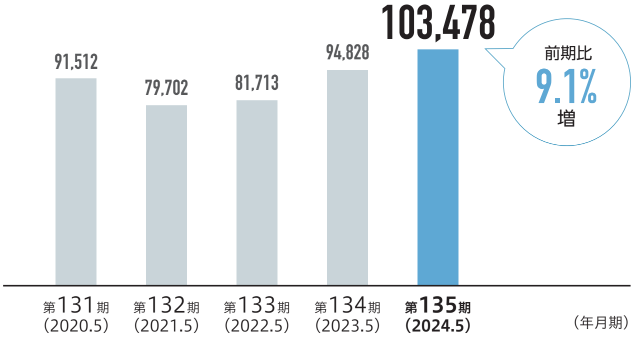
なお、当期の配当金については、1株あたり中間は35円、期末は35円の年間70円とさせていただきました。

今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

ハイライト

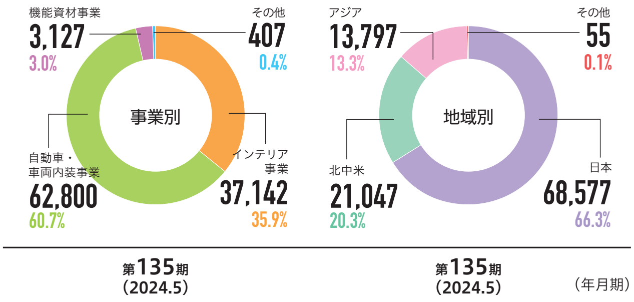
売上高

（単位：百万円）



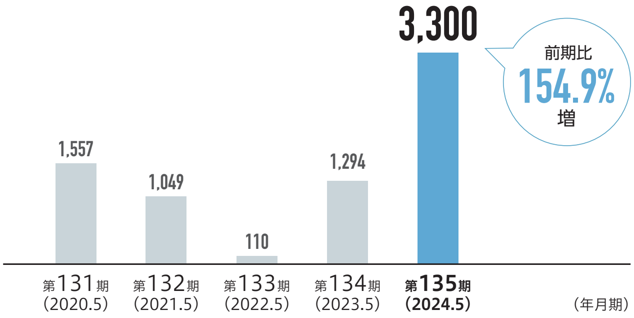
売上高構成比

（単位：百万円）



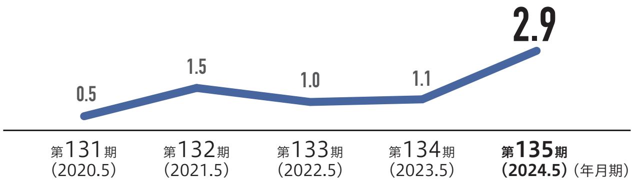
営業利益

（単位：百万円）



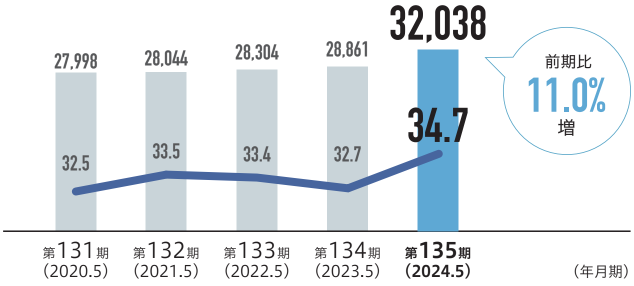
ROE（自己資本利益率）

（単位：%）



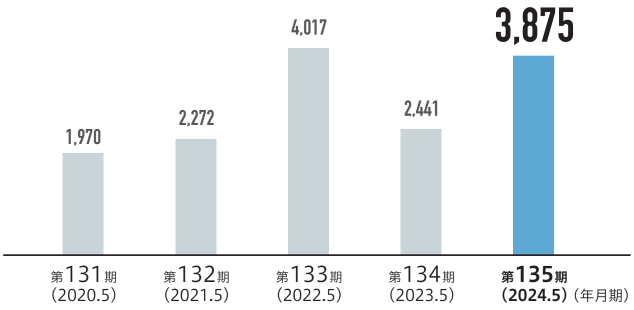
自己資本・自己資本比率

（単位：百万円）
（単位：%）



設備投資

（単位：百万円）



連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	前期 2023年5月31日現在	当期 2024年5月31日現在
資産の部		
流動資産	48,880	50,949
現金及び預金	7,079	8,303
受取手形、売掛金及び契約資産	15,814	15,665
電子記録債権	7,385	7,764
棚卸資産	15,923	16,331
その他の資産	2,677	2,885
固定資産	39,271	41,249
資産合計	88,151	92,199
負債の部		
流動負債	36,008	35,479
固定負債	18,029	19,031
負債合計	54,037	54,511
純資産の部		
株主資本	19,458	21,431
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,611	2,388
利益剰余金	11,207	12,198
自己株式	△ 3,913	△ 2,709
その他の包括利益累計額	9,403	10,607
非支配株主持分	5,251	5,649
純資産合計	34,113	37,687
負債純資産合計	88,151	92,199

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	前期 2022年6月 1日から 2023年5月31日まで	当期 2023年6月 1日から 2024年5月31日まで
売上高	94,828	103,478
売上原価	75,399	81,202
売上総利益	19,428	22,275
販売費及び一般管理費	18,133	18,975
営業利益	1,294	3,300
営業外収益	911	1,103
営業外費用	631	735
経常利益	1,575	3,668
特別利益	260	213
特別損失	386	1,132
税金等調整前当期純利益	1,449	2,749
法人税等合計	662	1,168
当期純利益	787	1,580
非支配株主に帰属する当期純利益	466	706
親会社株主に帰属する当期純利益	320	874

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

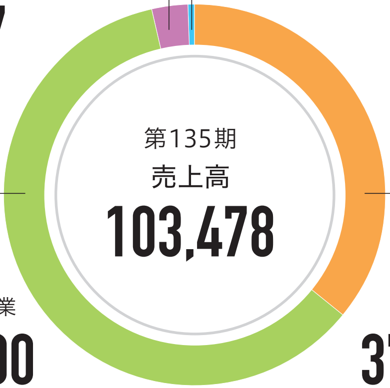
科　目	前期 2022年6月 1日から 2023年5月31日まで	当期 2023年6月 1日から 2024年5月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,803	7,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,834	△ 2,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 52	△ 4,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	300
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 1,040	1,223
現金及び現金同等物の期首残高	7,970	6,929
現金及び現金同等物の期末残高	6,929	8,153

事業概況

セグメント別の概況をご報告申しあげます。

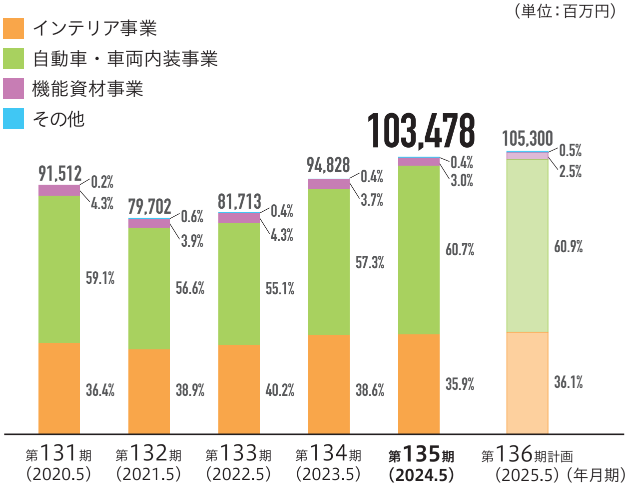
事業別売上高構成比

（単位：百万円）



事業別売上高推移

（単位：百万円）

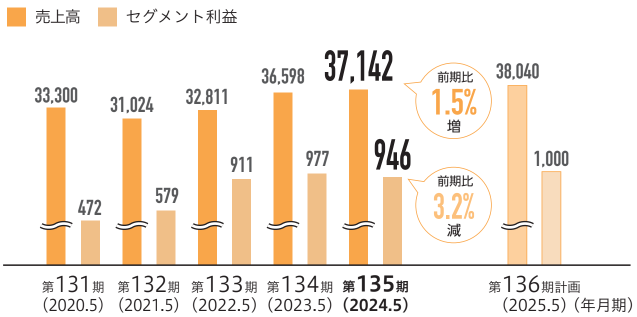


インテリア事業

自動車・車両内装事業

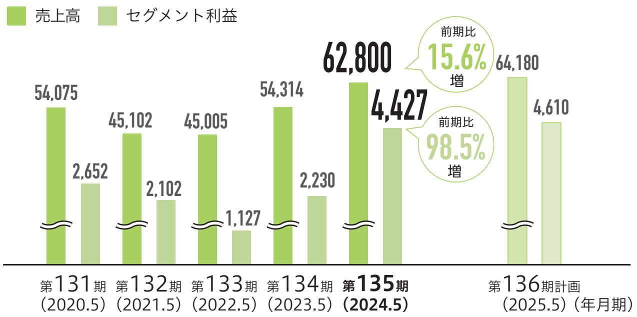
機能資材事業

売上高／セグメント利益（単位：百万円）	当期の業績	来期の見通し



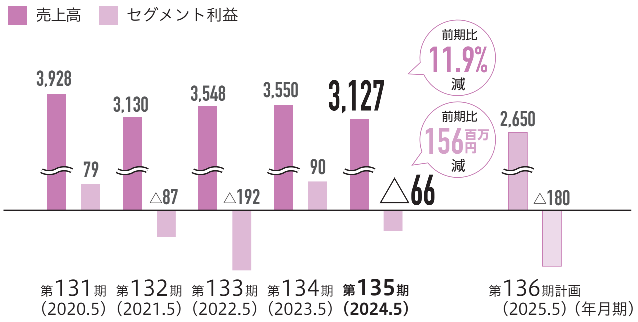
業務用カーペットでは、環境性能が評価されたことによる納入物件数の増加や価格改定効果が売上に寄与し、スペースデザインビジネスでは店舗内装などの採用が増加しました。利益面では、急激な円安進行による原材料価格高騰などの影響を受け、前期を下回りました。

「ECOS®」を中心とした環境対応型製品の拡販に努めるとともに、中高級ゾーンに対応する付加価値型製品群の強化により、SUMINOEブランドの認知向上と他社との差別化を図ります。また既存技術を活かした当社グループならではの提案を進めます。



自動車生産台数の増加や為替影響により自動車関連売上は伸長し、車両関連もコロナ禍で落ち込んでいた鉄道・バス向け内装材需要の回復へ着実に対応しました。利益は、事業再編を進めてきた北中米拠点における完全子会社の黒字化により前期を上回りました。

自動車関連は、合成皮革新工場において高品質で安定した生産を図るとともに外資系自動車メーカーへの販路拡大など北中米拠点のさらなる強化に努めます。車両関連では、製販一体で意匠性や機能性の高い製品開発に取り組み、さらなる受注を目指します。



新規採用となった自動開閉式ゴミ箱向け消臭フィルターが堅調に推移した一方、低調な市場環境や消費行動の変化による影響を受け、繊維系暖房商材および浴室床材の受注数が減少し、事業全体の売上・利益は前期を下回りました。

長引く市況低迷の影響により繊維系暖房商材の受注数は減少となる計画ですが、新たに季節性にとらわれない商材や小型生活家電の開発販売に注力します。また、他事業との連携によりベトナム拠点の生産効率を向上し収益性の改善を進めます。

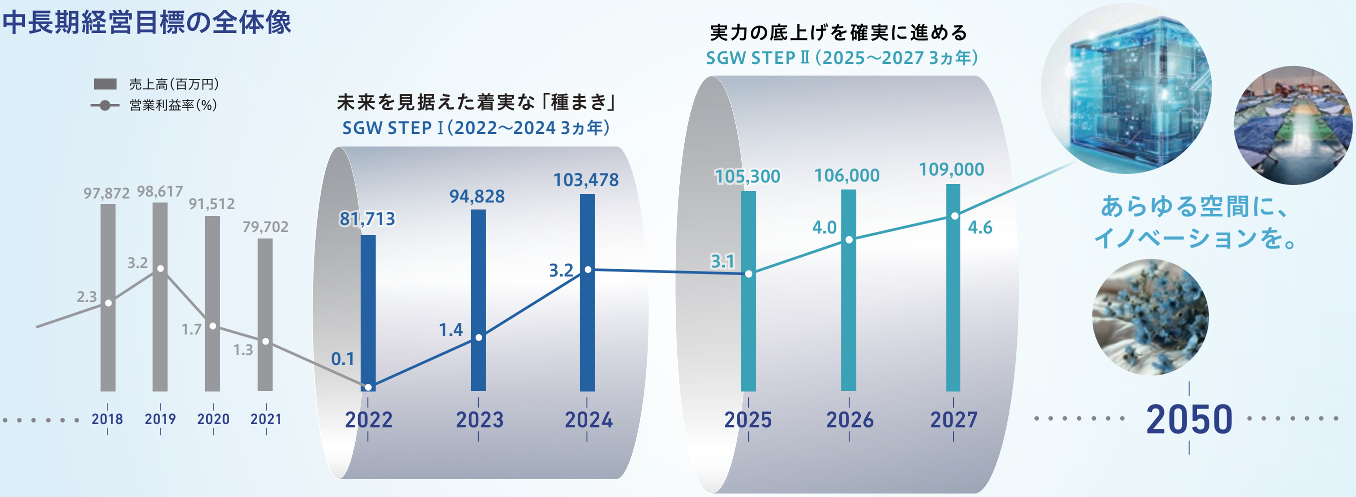
特集

中長期経営目標後半3ヵ年
SUMINOE GROUP WAY 2025～2027 STEPⅡ

2021年7月に発表した中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」に則り、その実現に向けて2025年5月期から2027年5月期を対象とする後半3ヵ年「SUMINOE GROUP WAY 2025～2027 STEPⅡ」を策定しました。前半3ヵ年のSTEPⅠでは未来を見据えた着実な種まきを進め、このSTEPⅡは、実力の底上げを確実に進める期間として位置づけています。

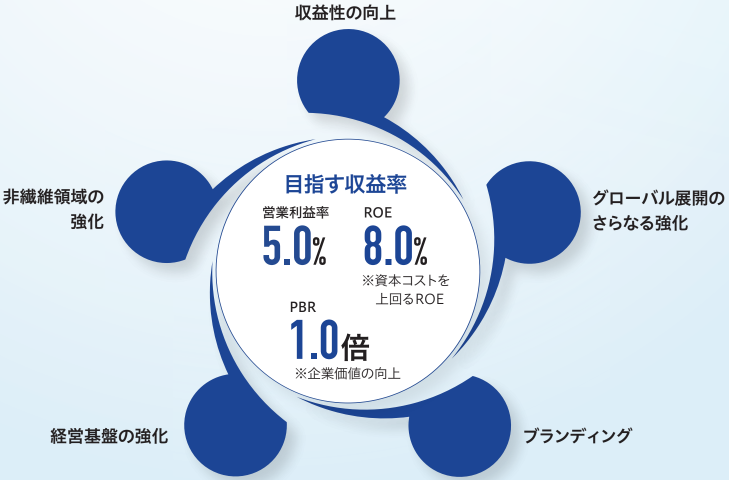
「SUMINOE GROUP WAY 2025～2027 STEPⅡ」を推進することで、持続的な成長とさらなる企業価値向上を目指してまいります。

中長期経営目標の全体像



重点テーマ

5つの重点テーマを追求するとともに、実力の底上げを確実に進めていくことで2027年5月期までに目標の収益率を目指します。



SGW STEPⅡ（2025～2027）

3ヵ年連結収支計画（連結）

（単位：百万円）

	2024年5月期	2025年5月期	2026年5月期	2027年5月期	STEPⅠとSTEPⅡ 最終年の比較	
	実績	計画	計画	計画	（率）	（額）
売上高	**103,478**	105,300	106,000	109,000	+5.3%	+5,521
営業利益	**3,300**	3,300	4,200	5,000	+51.5%	+1,699
営業利益率	**3.2%**	3.1%	4.0%	4.6%		
経常利益	**3,668**	3,400	4,200	5,000	+36.3%	+1,331
親会社株主に帰属する当期純利益	**874**	1,500	2,100	2,600	+197.3%	+1,725
為替レート　1ドル（円）	**145.31**	144.00	131.00	125.00		

セグメント別内訳

（単位：百万円）

		2024年5月期	2025年5月期	2026年5月期	2027年5月期	STEPⅠとSTEPⅡ 最終年の比較	
		実績	計画	計画	計画	（率）	（額）
自動車・車両内装事業	売上高	**62,800**	64,180	63,620	65,080	+3.6%	+2,279
	セグメント利益	**4,427**	4,610	5,130	5,540	+25.1%	+1,112
インテリア事業	売上高	**37,142**	38,040	38,790	40,030	+7.8%	+2,887
	セグメント利益	**946**	1,000	1,130	1,360	+43.7%	+413
機能資材事業	売上高	**3,127**	2,650	3,090	3,390	+8.4%	+262
	セグメント利益	**△66**	△180	90	170	—	+236
その他	売上高	**407**	430	500	500	+22.7%	+92
	セグメント利益	**76**	90	130	170	+123.3%	+93
調整額	セグメント利益	**△2,083**	△2,220	△2,280	△2,240	—	△156
合計	売上高	**103,478**	105,300	106,000	109,000	＋5.3%	＋5,521
	営業利益	**3,300**	3,300	4,200	5,000	＋51.5%	＋1,699

トピックス

インテリア事業

THE OSAKA STATION HOTEL, Autograph Collectionに当社の別注カーペットなどが採用

JR西日本ホテルズが加盟した、マリオット・インターナショナルが展開するオートグラフコレクションは、オリジナリティを提唱し、それぞれの個性を大切にした高級ホテルコレクションです。

「大阪ステーションホテル」は、初代大阪駅の跡地に建つことから、この土地の紡がれてきた歴史や文化、その価値を未来へ継承すべく、“THE OSAKA TIME” をブランドコンセプトとしたホテルです。

当社は客室、宴会場、スパエリアの別注カーペットと、客室、スパエリアの別注カーテンなどを納入しました。

30～38階の高層階に位置する客室は、初代大阪駅から旅立ち、雲上の客室に到着するというコンセプトになっており、カーペットで雲の流れを表現することで、まるで雲の上から眼下に広がる大阪の街を眺めているような空間を演出しています。

自動車・車両内装事業

本田技研工業の新型車「フリード」に当社のシート材が採用

当社の製品が、本田技研工業の新型車「フリード」のシート材に採用されました。スタイリッシュなコンパクトミニバンとしてさらなる安全機能やハイブリッドエンジンも採用され、室内空間もより広くなりました。このシート材には、3種類のフッ素材を最適配合することで撥水性に加え、撥油機能をもたせています。フッ素樹脂の表面張力により、油が玉状になり弾かれ布地への染み込みを防ぎ、汚れや臭いを防止します。さらに、シート材の裏面にもフッ素樹脂加工を施すことで油を染み込みにくくしています。自動車用シート材は、強い日差しや過酷な環境にも耐えられるタフネスさが要求され、室内が高温になっても、乗降で摩耗しても撥油性が持続する性能を実現しています。

自動車・車両内装事業

JR九州新D&S列車特急
「かんぱち・いちろく」に当社の内装材が採用

2024年4月26日に博多～由布院・別府間で運行を開始したJR九州の新D&S列車特急「かんぱち・いちろく」は、ゆふ高原線の風土をあじわうことをコンセプトにした列車です。

内外装のデザインは、鹿児島市の建築会社IFOO（イフー）が担当。1・3号車の座席は全てグリーン席で、畳個室・ボックス席・ソファ席など、様々な座席が用意されており、2号車にはラウンジが併結されています。各号車は沿線の風土をモチーフにデザインされており、スッキリとしたナチュラルモダンなイメージで纏められています。

各座席のシート地にはソフトなタッチ感の平織物が、またシートクッション材には安全性に優れた「スミキューブ®」が、そしてカーテン、のれん、踏み心地の良いハンドタフテッドカーペットも当社製が採用されています。

機能資材事業

再生材比率100%の「スミトロン®」を開発

住江テクノ滋賀工場で生産する「スミトロン®」は、使用済みペットボトル由来の再生原料を用いたポリエステルBCF繊維で、カーペット用パイル糸としてだけでなく、カーテンや「エコニックス」シート地、靴表皮材や、フィルターなど様々な用途で使用されています。

特にポリエステルの耐久性、速乾性などの特長と、スミトロン®の持つ、捲縮性や異形断面を活かした布タワシやクリーニングブラシ、モップ、汚れ取りパッドなどの各種清掃用品は、顧客から高い評価をいただいています。

当期はケミカルリサイクル原料を組み合わせた再生材比率100%のスミトロン®を開発し、より高い環境性能が訴求できるようになりました。

今後もスミトロン®の更なる拡販を推進していきます。

ガバナンス

役員（2024年8月29日現在）

永田 鉄平
代表取締役社長

薄木 宏明
代表取締役常務※

村瀬 典久
取締役※

諏訪 和晃
取締役※

市川 清一
常勤監査役

清水 春生
社外取締役

野村 公平
社外取締役

種田 ゆみこ
社外取締役

澁谷 裕子
社外取締役

片山 貴文
社外監査役

天知 秀介
社外監査役

執行役員

執行役員	吉澤 朋宏	執行役員	青山 雅一	執行役員	服部 太郎
執行役員	高島 順	執行役員	水野 明秀	執行役員	上田 研一
執行役員	松波 浩	執行役員	佐々木 和馬	執行役員	田村 裕史

※の取締役は上席執行役員を兼務します。

株式情報

株式の状況（2024年5月31日現在）

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	7,682,162株
株主数	10,608名

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
株式会社髙島屋	924	13.69
日本生命保険相互会社	476	7.06
丸紅株式会社	366	5.43
林テレンプホールディングス株式会社	233	3.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（退職給付信託ユニチカ口）	178	2.65
住江織物従業員持株会	147	2.18
住江織物共栄会	144	2.15
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG （FE-AC）	133	1.98
東レ株式会社	129	1.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	117	1.74

※ 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 当社は自己株式（926,816株）を保有していますが、上記大株主からは除いています。
また、持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

本報告書、株式に関するお問合せ先

住江織物株式会社　本社総務部

TEL：06-6251-6801　FAX：06-6251-0862

株主メモ

決算日	5月31日
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会・期末配当　毎年5月31日 中間配当　毎年11月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 当社ホームページをご覧ください。 https://suminoe.co.jp/ir/

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話　0120-288-324（フリーダイヤル）
URL　https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
郵送物送付先　〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社　証券代行部

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	口座を開設されている証券会社	
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

※ 未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店でお取り扱いいたします。

会社情報

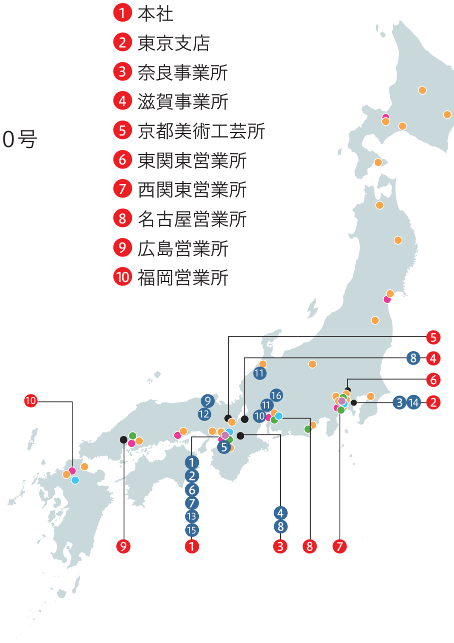
会社概要(2024年5月31日現在)

会社名	住江織物株式会社 Suminoe Textile Co., Ltd.
URL	https://suminoe.co.jp/
本社所在地	〒542-8504 大阪市中央区南船場三丁目11番20号 TEL:06-6251-6801
創業	1883年(明治16年)
合資会社創立	1913年(大正2年12月25日)
株式会社設立	1930年(昭和5年12月26日)
資本金	95億54百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	258名(連結2,812名)

国内グループ会社

住江織物(株)の事業所

1. 本社
2. 東京支店
3. 奈良事業所
4. 滋賀事業所
5. 京都美術工芸所
6. 東関東営業所
7. 西関東営業所
8. 名古屋営業所
9. 広島営業所
10. 福岡営業所

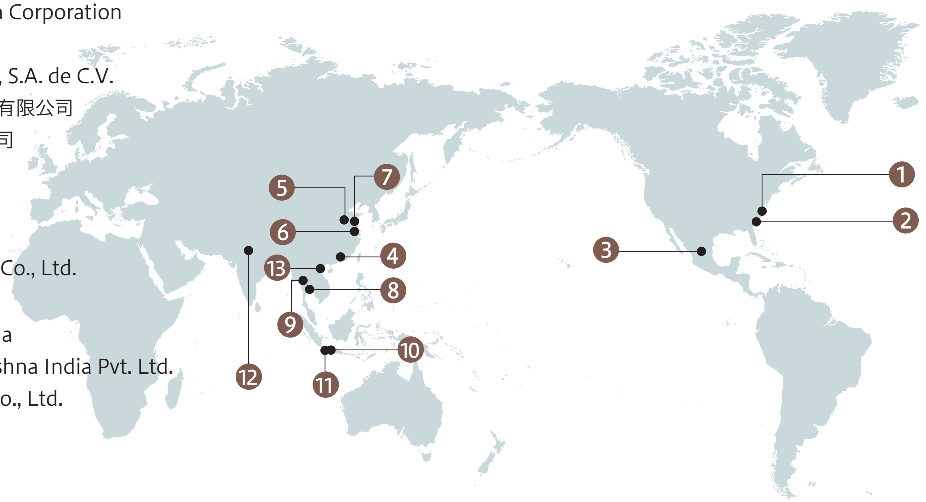


グループ会社

1. 住江織物(株)
2. (株)スミノエ
3. ルノン(株)
4. 住江物流(株)
5. 関西ラボラトリー(株)
6. スミノエ テイジン テクノ(株)
7. 丸中装栄(株)
8. 住江テクノ(株)
9. 丹後テクスタイル(株)
10. 帝人テクロス(株)
11. 尾張整染(株)
12. (株)ソーイング兵庫
13. インテック(株)
14. (株)シーピーオー
15. (株)プレテリアテキスタイル
16. 関織物(株)

各事業の営業拠点

インテリア　自動車内装
車両内装　機能資材
スミノエ ショールーム

海外グループ会社

1. Suminoe Textile of America Corporation
2. Bondtex, Inc.
3. Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.
4. 住江互太(広州)汽車纖維製品有限公司
5. 蘇州住江小出汽車用品有限公司
6. 住江織物商貿(上海)有限公司
7. 蘇州住江織物有限公司
8. T.C.H. Suminoe Co., Ltd.
9. Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.
10. PT. Suminoe Surya Techno
11. PT. Sinar Suminoe Indonesia
12. Suminoe Teijin Techno Krishna India Pvt. Ltd.
13. Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.